

有機農産物で
安心安全を



家族との時間を
大切にしたい



兵庫で農業を始めた方に

ひょうごで 就農



ガイドブック

ただひたすら
高品質な野菜を
作れるよう
毎日必死に
仕事をしています

良質で安全な
野菜で食卓に
笑顔と彩りを!



淡路島の
特産品の生産に
携わりたい



はじめに



兵庫県では、ひょうご就農支援センターと13地域就農支援センターで就農支援ネットワークを構成し、「農業を始めたい」と希望される皆さんからの相談に応じています。さらに、県・市町・農業団体とも連携し、新規就農の応援をしています。

相談に来られる方の思いは“すぐにでも農業を始めたい”“農業法人等に就職して知識・技術を身につけたい”“農業体験や農村生活をしてみたい”など、様々だと思います。

一方、農業の現場では、担い手不足や高齢化の課題を抱え、多くの地域で新たな担い手を求めています。

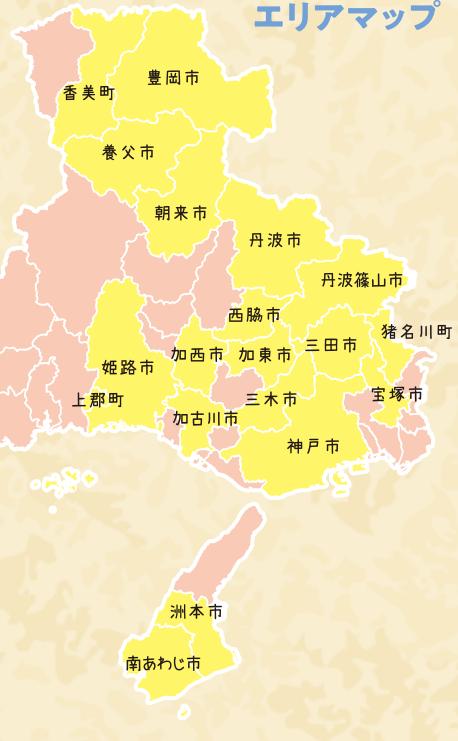
ひょうご就農支援センターでは、双方の思いに寄り添い、皆さんのニーズにお応えできるよう、日々業務に努めています。

今回、県内の19市町と1JAの新規就農策や移住策をご紹介する本冊子を発行しました。

ぜひ、あなたの希望する地域や農業のスタイルを見つけていただき、あなたの農業への夢が実現されますことを願っています。

公益社団法人ひょうご農林機構
ひょうご就農支援センター センター長 椿原 健右

就農・定着応援 エリアマップ



新規就農の先輩たち



表紙の

Iターン 東 純平さん（宝塚市出身）

就農地 三田市



2017年に就農し、有機農産物の栽培を取り組んでいます。安心安全な農産物を必要とする消費者に喜んでもらえることにやりがいを感じています。今後は、有機農業を志す人々と連携し、地域に有機農業が広がるように努めています。



Uターン 谷口 将士さん

就農地 丹波篠山市



「家族との時間を大切にできる」という理由で農業を志し、2015年に就農しました。夫婦で役割を分担し、家族との時間を大切にすることで、充実感とゆとりのある生活を実現できています。主な作目は黒枝豆です。



Uターン 前田 剛志さん

就農地 宝塚市



2017年に就農し、トマトといちごを養液栽培しています。2020年には株式会社しそう前田農園を設立しました。トマトといちごの栽培技術はある程度確立できてきたので、今後10年で農業部門を任せられる人材を育成したいと考えています。



Iターン 狹間 健治さん（明石市出身）

就農地 養父市

瞳さん（神戸市西区出身）

就農地 養父市



野菜ソムリエのいる飲食店に勤務していた際、有機野菜と他の野菜の味の違いに感動しました。その後、兵庫楽農生活センターの就農コースに通い、有機農業を始めようと思うようになりました。2017年に養父市で就農し、多品目野菜の有機栽培を行っています。これからも美味しいものを安定的に作りたいと考えています。



Iターン 辻江 徹朗さん（奈良県出身）

就農地 洲本市



淡路島への移住を経て、島の特産品の生産に携わりたいと思いました。特に、世界的なブランドである神戸ビーフの生産者が減少していることをもったいないと感じ、繁殖和牛の生産に取り組むことを決めました。自分の裁量で様々な決定ができ、やりたいと思うことに挑戦して成果が出ると嬉しいです。



各市町等には、さまざまな支援メニューがあります。

親方 親方農家による研修制度等があります。

農地 農地情報等の整備（農地バンク等）をしています。

研修 研修施設を設置しています。

施・機 就農時の農業用施設または機械等の導入費助成があります。

※このほか、国や県の支援策を受けることも可能ですが(P11参照)。
詳細は各市町等担当者にお問い合わせください。



新規就農者も参加するファーマーズマーケット

都会近くの便利さと、農業に適した環境を兼ね備える人気就農地域

神戸市の北区・西区には県下有数の農業地域が広がり、多様な農作物が栽培されています。こちらで就農するには、1年間、「兵庫県農生活センター」等での研修か、農家の実務経験が必要ですが、研修等を通じて様々なアドバイスを受けられます。また、市が認定した研修機関で100時間程度の研修を受けることで10a未満の農地が借りられる「ネクストファーマー制度」があります。市街地に近いので、販売先や住居の確保も比較的しやすく、就農後の快適な暮らしも大きな魅力となっています。

●有野いちご部会顧問 滑浦 武志さん

私たち有野町の「二郎（にろう）いちご」は、六甲山のおいしい水と四季の寒暖差に恵まれ、神戸を代表するブランドいちごに育ちました。1960年代に西日本で初めて「いちご狩り」を始めてから、観光農園としてもお客様に喜ばれています。ぜひ私たちと一緒に未来へと続く「神戸ブランド」を守っていきましょう！

就農支援

サポートします!

親方 農地

●農地バンク

貸したい等の農地情報を掲載し、借りたい方に紹介しています。

●就農促進コーディネーター事業

新規就農者が農業技術の習得、向上するための研修費を支援します。



●こうべ果樹の就農学校 (一般財団法人神戸農政公社)

果樹（桃、梨、生食用ブドウ、ワイン用ブドウ）、軟弱野菜等の栽培技術を習得できます。

受講料：10万円/年(消費税込)



定住、生活(子育て)支援

生活・子育て支援 農村定住促進コーディネーターが、里山暮らしに関する疑問にお答えする

神戸市 HP内

も充実！
相談会や空き家バンク等の情報は
「子育てページ」「神戸・里山暮らしのすすめ」HP



宝塚市

ときめく日々がたからもの



宝塚市産業文化部
農の魅力創造課

宝塚市東洋町1-1
TEL.0797-77-2110



無償貸与されるパイプハウス（同タイプ）

サポートします!

親方 施・機

就農支援 就農相談週間を実施（開催日等の詳細は、市の広報にてお知らせします）

宝塚市「新規就農者確保事業」農業大学校や研修施設の修了者を対象にパイプハウスを無償で貸し付け、市内の認定農業者による技術指導を実施し、農作物の生産を行ってもらいます。

●条件／①宝塚市で就農を志す50歳以下の方

②宝塚市民（3ヶ月以内に市民になることが確実な人を含む）

③西谷夢市場（宝塚市立農業振興施設）への出荷

●貸付施設／パイプハウス1棟及び隣接する農地（宝塚市北部西谷地域） ●貸付期間／2年間

●令和3年度新規就農者 舟子 初さん (令和3、4年度新規就農者確保事業（パイプハウス）利用者)

宝塚西谷地区は、農業生産に最適な立地条件があるだけでなく、近くに直売所があるなど販売にも適した地域です。そんな環境の中で、市が提供してくれる無償貸与パイプハウスを2年間利用し、その後は宝塚市内で野菜づくりを中心に農業経営を拡大中です。

定住、生活(子育て)支援

宝塚市の子育て支援メニューを網羅。
妊婦・出産、子育てを応援する
行政サービスガイド

「ママフレ」HP



農業まつり

さと（自然）とまち（都市）の“いいとこ取り”

生産地と消費地を併せ持つ三田市で就農スタートアップ！

三田市は、神戸や大阪といった大都市へのアクセスがよく、市内にも大きな消費地を抱える一方で、里山のある豊かな自然に恵まれた地域です。三田米、三田牛、黒大豆枝豆やピーマン等多様な農畜産物を供給し、地産地消の推進にも積極的に取り組んでいます。若手の新規就農者やベテラン農家も多く、市独自の支援策にも力を入れており、就農初期に相談しやすい環境が整っていることも魅力です。また年に一度、「農業まつり」を開催しており、生産者と消費者の交流も盛んなこのまちで、一緒に農業を志す方を応援します。

●（左から）徳毛 小春さん・おおにし農園 大西 則和さん・静 剛史さん

本格的に農家を始めたい方を歓迎します！二人は親方農家の大西さんのもとで野菜作りを学び、独立就農しました。「周りの方が優しく、相談できる環境が三田の良いところ」（徳毛さん）、「地域に根差した栽培方法を教わり、野菜の甘みを再発見できました」（静さん）。

サポートします!

親方 農地 施・機

就農支援 三田市独自の就農支援策（要件等は別途お尋ねください）

★認定農業者等のベテラン農家（親方農家）での農業研修を紹介します。

★農地情報の提供・マッチングを支援します。

★三田市での就農スタートアップを応援します。

●農業研修受講料助成事業（1名につき最大5万円助成）

●営農開始段階の初期投資を支援します。

●認定新規就農者営農開始応援事業（1名につき最大75万円助成）

定住、生活(子育て)支援

三田市の魅力的な場所・人・イベント等の情報や空き家バンクなど、生活支援メニュー満載

ポータルサイト「さんだうえるかむ」



神戸市

都市型農業で地産地消を推進



居心地100点
距離感100点

神戸市中央区御幸通6-1-12
三宮ビル東館2階
TEL.078-984-0387



三田市

魅力がたくさんだ、三田

あなたを応援します!!



三田市産業振興部
農業振興課
由里 匡也さん

三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5089





都心に近く、四季折々の豊かな自然を感じる

猪名川町でチャレンジしてみませんか？

猪名川町は兵庫県南東部に位置し、南西部は川西市、宝塚市、東部は大阪府能勢町、北部は丹波篠山市、三田市に隣接しています。新名神高速道路の開通によって、大阪へ車で約45分、神戸へ約50分で行くことが可能です。都市近郊という立地条件の有利性と、多様性に富んだ自然的条件を活かし、「道の駅いながわ 農産物販売センター」を中心に、生鮮農産物を地域内外に向け、直接販売しています。



●認定農業者 「親方農家」 中野 耕太郎さん

岡山県で15年ほどブドウ栽培に取り組み、縁あって猪名川町に移住してピオーネやシャインマスカットを栽培しています。住んで10年ほどになりますが、自然の豊かさと都心への利便性の良さがとても暮らしやすい環境です。ぜひ、私たちと一緒に農業をやりましょう！



鮮度バツグン！
いながわ産

猪名川町地域振興部
農業環境課

田中 つばさん

川辺郡猪名川町上野字北畠11-1

TEL.072-766-8709



サポートします！

親方 施機 農地

就農支援策

○新規就農者農業用機械等導入支援（最大50万円助成）

認定新規就農者を対象に農業機械の導入に係る費用の一部を助成します。

○営農活性化支援事業（ハウス）（最大200万円助成）

野菜等の販売農家を対象にハウスの設置費用の一部を助成します。

○チャレンジ農業者就農支援制度

町内の認定農業者等の下で一定期間研修を受けることができる制度です。

定住、生活(子育て)支援

「中学3年生までの医療費を完全無料化」

「幼稚園～中学校まで11年間完全給食実施」など暮らしの支援策が充実。

詳細は町HP内『いながわ暮らし』で。



就農・定着応援プラン 1地区

加古川市

アクセスも気候も
農業にバッチリ

何でもご相談
ください！

猿木 真吾さん
若林 侑未さん

加古川市役所
産業経済部
農林水産課 農政係

加古川市加古川町北在家2000
TEL.079-427-9227



様々な品目に対応できる環境で、 自分らしい農業のカタチに挑戦しよう！

瀬戸内海に面する加古川市は、温暖な気候で様々な品目に対応できる農業に最適な地域です。また、高速道路も近いので大阪や神戸へのアクセスも良く、流通もスムーズ。南北に広いので、北部に農地を持ち、南部の都会で家を持つ暮らしも可能です。様々な品目に対応できる気候ですから、まだ品目を決めていない方や、多品目で取り組みたい方には最適な地域だと思います。「かこがわ育農塾」では、入門コースから、就農を目指す中級コースを用意していますので、まずは気軽に問い合わせください。

サポートします！

農地 施機

就農支援

●アグリスタート補助金

(1)準備型 農業経営者育成機関や先進農家・法人等で研修を受け、加古川市で就農する人に対して、研修期間に応じて2万円/月(最長1年)を支援。

(2)開始型 加古川市内の農地で新たに農業を開始する認定新規就農者及び認定農業者に対して、耕作面積10万円/10a(上限100万円)を支援。

●大型トラクター免許取得費用補助

【対象者】50歳未満の認定新規就農者、農業法人の構成員等。

【補助額】補助対象経費の1/2以内1人あたり上限3万円。

詳細はお問い合わせください。

定住、生活(子育て)支援

「加古川市移住・「加古川市定住助成制度」空き家バンク」HP



神戸ビーフのもと牛となる「黒田庄和牛」を、 あなたの手で育てませんか？

日本列島の中心に位置する西脇市は、「日本のへそ」と呼ばれています。ここで古くから肥育されてきた「黒田庄和牛」は、世界に誇る神戸ビーフのもととなる牛です。肥育農家は高い技術力と牛への深い愛情を持って、2年間、じっくりと大切に育てあげ、日本一厳しいと言われる神戸ビーフの認定を高い割合でクリアされています。過去には農業インターンシップを利用された方と肥育農家さんの間で雇用就農に繋がった実績もあります。まずはインターンシップで体験する事から始めてみませんか？

●黒田庄和牛同志会 会長 三谷 悟さん

西脇市黒田庄地区には、知識と経験豊富な和牛の肥育農家が多く、日々研究を重ねながら肥育されています。常に牛への愛情を忘れず、表情や状態を観察しながら世話をしています。畜産は生き物を相手にする難しい仕事ですが、関心のある方はインターンシップを通じて体験してみてください。



自慢の和牛を
育てませんか？

西脇市産業活力再生部
農林振興課
岩根敬弘さん

西脇市下戸田128-1
TEL.0795-22-3111



サポートします！

研修

就農支援

☆農業インターンシップin西脇市 募集期間: 2025年2月まで

黒田庄和牛や高設イチゴ栽培の農業体験。

希望者と受け入れ農家をマッチングし、最大10日間の農業体験を行います。

●応募資格: 概ね40歳までの就農を希望する方。もしくは農業に興味のある若者。

●募集人数: 5名程度 ※詳しくはお問い合わせください。

定住、生活(子育て)支援

市独自の手厚い移住支援制度や子育て・教育支援制度などを網羅した西脇市の移住・定住総合サイト

「ほっこり、のんびり、にしづきごごち」



リニューアル工事中の直売所「山田錦の館」

酒米「山田錦」日本一 県内屈指のぶどう産地

三木で「農」のある暮らし 始めませんか？

神戸市に隣接する三木市は、日本一の生産量と質を誇る酒米「山田錦」のまち。市内各地に広がるぶどう園は生食用ぶどうで、県内有数の産地です。令和7年春に開駅予定の「道の駅よかわ」で働きながら、農村部に住んで営農もする「半農半X」人材（三木市版地域おこし協力隊）も募集予定！地元での直売や、都市部へ出荷もしやすい都市近郊の強みを活かし、地域と協力して将来を担う新規就農者をお待ちしています。



期待の担い手
待ってます！
三木市農業振興課
大橋 弘基さん
坂口 愛子さん

三木市上の丸町10番30号
TEL.0794-89-2356



●（左から）1ターン就農した親方 山本 洋太朗さん 弟子 升木 漢雅さん

補助金など様々なメリットがある親方制度を利用し、これまで8人指導してきましたが、現在も全員がバリバリ活躍中です。升木さんは鉄道会社からの異色の転職ですが、得意なプログラミングを活かし農業のオートメーション化に取り組み、すでにハウスの環境管理の自動化を実現。さらに高度なシステム化を模索中です。ここでの繋がりから、研修後の助け合いも生まれています。

サポートします！

親方 研修 農地 施機

就農支援 お試し現地ツアーの参加者募集中！定例就農相談も実施！

☆お試し現地ツアー 三木の農業を知るツアーを開催予定！詳細はホームページをご覧ください。

☆定例就農相談会 毎月第2水曜日、市・県・JAが一体となり、本格的な就農に向けた相談会を開催します。締切日までにホームページからお申込みください。

☆認定農業者等支援補助金 農業機械などを導入する事業費の2割、200万円を上限に補助！

定住、生活(子育て)支援

子育て支援のページ
(子育て応援ハンドブック)

0歳から高校生まで医療費
が無料！子育て情報
報を網羅した「三
木市子育て応援
ハンドブック」

定住支援のページ
(移住・定住促進事業)

三木の移住情報パン
フレットや新生活
補助金の
情報

就農・定着応援プラン 2地区

加西市

加西市新規就農促進協議会
「農」に生きる「かさい」で生きる

本気になら
加西市へ！



市内に農大や関係機関が集まる農業の中心で、 新規就農に本気で取り組みませんか？

市内に、県立農業大学校・加西農業改良普及センター・県立農林水産技術総合センターなどの施設があり、就農前後に技術などの支援が受けやすい環境で、市独自の新規就農者支援メニューも充実。平坦な地形と温暖な瀬戸内式の気候にも恵まれ、農業を始める理想的な地域と言えます。大玉トマトの「加西とまと」は甘みとうまみが強く、直売所では売り切れが続出するほどの人気ぶりで、そのうまみを活かした様々な加工品も人気です。他、ブドウやいちごの栽培でも新規就農者が活躍しています。

加西市産業部農政課
松末 大貴さん
松本 清楓さん

加西市北条町横尾1000
TEL.0790-42-8741



サポートします！

親方 研修 農地 施機

就農支援 加西市新規就農者支援事業

☆新規就農者の研修受入れ制度

●就農者または就農を希望する方が、一定期間市内の農家等に教われる研修制度です。（受入期間：6ヶ月以上1年以内）

☆新規就農者を対象とした支援策

- 経営自立安定化支援：1年目15万円／月、2年目10万円／月、3年目5万円／月
- 施設機械整備支援：導入費用の1／2（上限300万円）
- 農地賃借料助成：金額（上限あり）※6年以上の権利設定が必要
- 住居費助成：12,000円／月 ※市内の民間賃貸住宅に居住が必要



定住、生活(子育て)支援

子育て・医療・暮らし
の支援など、加西市の
魅力が詰まったプロ
モーションサイト

「イーナかさい」



優良農家から栽培技術等を学べる研修支援事業がスタート！

有名な「山田錦」や「もち麦」の他、多品目に対応

酒米の王者「山田錦」の生産地であり、もち麦の栽培でも知られる加東市は、特産品である「やしろの桃」、「山の芋」など、様々な作物が幅広く栽培されています。今年度からスタートした新しい支援事業では、優れた親方農家から給与をもらしながら研修を受けることができます。幅広い品目に対応できますので、まだ取り組みたい品目が特に決まっていない方にもおすすめです。加東市は都市部からのアクセスも良く、程よい自然が広がるまちですので、これから農業に取り組む方には最適な環境だと思います。



●やしろ自然野菜工房 津田 博基さん

10年前、新規就農で小規模な露地野菜からスタートしましたが、着々と農地を広げ農機具も買い揃え、現在は良質な山田錦を栽培し、有名な日本酒になっています。また、野菜は100%有機栽培を行っており、有機JAS認定も取得しました。行政、JA、民間企業や他の生産者と信頼関係を築き意欲的に農業に取り組んでいます。大切なのは、「想い継ぎれば叶う」という事。一緒に加東市で夢を叶えましょう！



あなたの
就農応援します！
加東市産業振興部
農政課

藤崎 純平さん

加東市社50番地
TEL 0795-43-0518



サポートします！

親方 研修 農地 施機

就農支援

☆加東市就農研修支援事業

就農希望者が、市内の優良な農業者に雇われながら、作物の栽培技術や農業経営を学ぶ制度です。
農業者に雇用されるので、給与をもらいながら研修を受けることができます。

就農希望から研修、独立就農までサポートします。

●農地中間管理事業を通じた農地の貸し借りにも力を入れているので、就農地も探します。

定住、生活(子育て)支援

「切れ目のない子育て支援」

子育て世帯スマイル交付金や、小中学校の給食無償化、医療費の無償化など、妊娠期から高校生までの充実した子育て支援を実施しています。

「かとうとかどう?-定住移住情報サイト-」↑





林田チャレンジ農園

「就農コンシェルジュ」が あなたの挑戦をサポートします!

姫路市では「就農コンシェルジュ」という専門相談員を配置し、簡単な相談から就農までを総合的にサポートします。「自分の思い描く農業経営をどう実現していくのか」を聞かせてください。姫路市は広く、作物を栽培する環境や、米、野菜、果樹、花、畜産といった経営できる品目も多彩で、きっとあなたに合った農業経営が見つかります。栽培指導、体験、研修、機械導入助成など支援策もあります。これから姫路市で農業を始めたい方は是非ご相談ください。

●矢内自然農園 矢内 伸英さん

兼業農家で生まれ育ったことや結婚と子供の誕生を機に「家族に安全なものを食べさせたい」と思うようになり、就農を決意。有機栽培に心惹かれ、農業大学校や県内農家の元で栽培のノウハウを学んだ後、R5年度に認定新規就農者になりました。現在は農薬や化学肥料、除草剤を使用せず、マコモダケや米などを育てています。イベントへの参加で出会えた仲間たちと情報交換して試行錯誤しつつ、季節を肌で感じながら野菜を育てられる日々は最高に楽しいです。

**サポート
します!**

研修 施・機

就農支援

★林田チャレンジ農園(栽培講習付き農園区画)令和7年度の利用者募集中。詳細はHPをご覧ください。

市民農園「林田チャレンジ農園」では、本格的な農業に挑戦することができる講習付き区画を整備。姫路市農業振興センターの専門職員が栽培技術指導を行っています。(年間40回程度)(対象)姫路市内在住・在勤の人(期間)1年間(4~3月)(使用料)年間156,000円※一般貸し農園区画(年間)21,000円もあります。

☆就農支援補助金 林田チャレンジ農園の栽培付き区画を利用し栽培講習を修了した方やひめじ帰農塾の新規就農者枠を受講し修了した方のうち、65歳未満で就農した方を対象に農機具の購入費用の一部を補助します。

●補助額／補助対象経費の2分の1(上限30万円)

R2年から
2名が
市内で就農



林田チャレンジ農園▲

姫路市

“姫そだち”ブランドで
地産地消を推進



何でも相談してください!

姫路市農林水産環境局
農林水産部農政総務課



担い手の
育成・支援

定住、生活(子育て)支援

姫路市子育て
支援総合
情報サイト



姫路市
HP内



「わくわく
チャイルド」

「移住・
定住促進ページ」

就農・定着応援プラン 1地区

上郡町

清流千種川が流れる「水の郷」



あなたの就農を
応援します!

上郡町
就農サポートセンター



豊かな自然と清流千種川が流れる上郡で

有機栽培に取り組んでみませんか?



清流千種川が流れる上郡町は、三方に山脈を背負う地形により寒暖差が大きく、作物の甘みが増し、農業に適した地域です。令和4年度からは新たに就農サポートセンターが設立されました。水稻を始め、マスコットもいるモロヘイヤ・ぶどう・メロン・イチジク・ジャンボ落花生等の特産品も豊富。令和4年度から「ワイン特区」に指定されてワイン製造にも取り組みやすくなりました。地産地消を推奨している事もあり販路も安定し、普及センターとJAとの連携も強固ですので、安心して就農に取り組んでいただけます。

**サポート
します!**

農地 施・機

就農支援

●新規就農者家賃補助事業

新規就農者等1世帯につき
支払った家賃月額の1/2以内
補助金限度額月額28,000円
3年目は月額20,000円
初年度申請から3年間(36ヶ月)

●農地バンク制度

農地を貸したい人と借りたい人
をつなぐサービス。
農業を真剣に継続していく
意思があれば誰でも申し込み
できます。

●機械購入費用補助

【対象者】人・農地プランに位置付けられた
認定新規就農者。就農から5年を超えない者
【補助額等】
補助対象経費の1/2以内 上限50万円
詳細はお問い合わせください。

定住、生活(子育て)支援

上郡町定住促進助成制度

新築住宅に対する固定資産税の
課税免除。中古住宅
取得費補助金制度。
定住応援支援金交付
制度など



コウノトリ舞う空の下、みんなで支えていく “グッドローカル農業”に取り組みませんか?

豊岡市は、一度は日本の空から姿を消したコウノトリが、最後に生息したまちです。半世紀以上をかけてコウノトリの野生復帰に取り組む中で、「コウノトリも住める豊かな環境は、人間にとっても持続可能で健康的に暮らせる環境であるに違いない」と考え、多くの生きものを育む水稻や農薬に頼らない野菜等、環境に配慮した農業を拡げています。水稻、ピーマン、ぶどう等の地域ブランドに初心者でも取り組みやすい体制が整っています。合言葉はグッドローカル農業です。あなたの参加をお待ちしています。

●豊岡農業スクール 霜倉 和典さん (豊岡市認定農業者連絡協議会 事務局長)

豊岡農業スクールには120以上の親方がいるので、様々な品目や、経営形態など、多種多様なニーズに合わせて学ぶことが出来、プロの農場がそのまま指導の場となるので、技術はもちろん地域との関わりも同時に深められ、就農後も安心して農業を続けていけます。若手農家同士の繋がりも強く、若い人は新しいことにどんどん挑戦していますね。本気で挑まれる方には本気で応えます。育てる自信はあります。農業に取り組む方にはみんなに幸運になってもらいたいのです。

就農支援 研修から就農まで地域ぐるみでサポート

**サポート
します!**

親方 研修 農地 施・機

就農体験
(事前相談)

希望のタイミング、
期間で就農体験。
移住先の下見もで
きます(交通費、宿
泊費の補助あり)

農業スクール
(最長2年間)

市内の先進農業者を中心
に実践的な研修。国、農
業準備資金(年最大150
万円)、市独自の家賃補
助(月上限3万円)あり。

就農
(スクール卒業後)

経営開始期の資金、農地
を市、県、JAが地域ぐる
みで支援。市独自の設備
補助あり(事業費の1/2
以内、上限300万円)。

【スクール実績】
(平成25年～現在)

・卒業生 28名
独立就農 21名
雇用就農 7名
・研修生 7名

定住、生活(子育て)支援

移住支援や空き家の情
報は「飛んでるローカル
豊岡」をご覧ください。

子育て支援は「とよおか
子ども情報 すくすくタ
ウン」をご覧ください。



豊岡市
“グッドローカル農業”を
拡げるまち



やってみたい!を
応援します

豊岡市コウノトリ共生部
農林水産課 農業政策係

岡 莉紗子さん

豊岡市中央町2-4
TEL.0796-23-1127



**サポート
します!**

親方 研修 農地 施・機

就農体験
(事前相談)

希望のタイミング、
期間で就農体験。
移住先の下見もで
きます(交通費、宿
泊費の補助あり)

農業スクール
(最長2年間)

市内の先進農業者を中心
に実践的な研修。国、農
業準備資金(年最大150
万円)、市独自の家賃補
助(月上限3万円)あり。

就農
(スクール卒業後)

経営開始期の資金、農地
を市、県、JAが地域ぐる
みで支援。市独自の設備
補助あり(事業費の1/2
以内、上限300万円)。

【スクール実績】
(平成25年～現在)

・卒業生 28名
独立就農 21名
雇用就農 7名
・研修生 7名

定住、生活(子育て)支援

移住支援や空き家の情
報は「飛んでるローカル
豊岡」をご覧ください。

子育て支援は「とよおか
子ども情報 すくすくタ
ウン」をご覧ください。





「香住なしの学校」開校!! 梨農家を目指す方、待ってます!

梨栽培においては、香住果樹園芸組合が、梨の共同選果、販売、組合員への技術指導を行い、県関係機関・農協との連携のもと、手厚いサポートを行っています。また、認定研修機関の「香住なしの学校」が令和5年より開校しました。梨農家を目指す方が学びやすい環境を整備しています。梨の他、「但馬牛」、「松葉ガニ」、「コシヒカリ」など、香美町は最高に美味しい食材の宝庫であり、夏は川や海で泳ぎ、冬はスキーやスノボで遊ぶなど、四季折々の大自然を満喫できる暮らしも魅力です。



私たちが
まってます!

●「香住なしの学校」研修生 屋麻戸寛典さん

「農作業って楽しい!」きっかけは友達の梨園を手伝った事からでしたが、みんなと一緒に汗を流し、協力し合い梨を育てていく喜びを知り、思い切って鳥取のスポーツジム機器を製造する会社を辞め香美町へやってきました。インターンシップを経て、まだ学校へはこの春入学したばかりですが、週2~3回学びながらすでに農園の管理も任されています。人との関わりを大切に感じながら日々頑張っています!

**サポート
します!**

親方 農地

就農支援

★就農体験マッチング

農作業体験を受け入れ可能な梨農家とマッチングします。まずは1週間程度の農作業体験を用意しておりますので、感触を掴んでから就農に向けて取り組むことをおすすめします。

★空き農園マッチング

関係機関と空き園となる農地について情報共有をし、就農希望者とのマッチングを支援します。梨は一から始めると収穫までに数年かかるので、現在使っている梨園を借りられるようできる限り支援していきます。

香美町
豊かな自然・食材の宝庫



自然の恵みが
もて梨ます!

香美町農林水産課
農政係

谷口 智哉さん



美方郡香美町
香住区香住870-1
TEL.0796-36-0846

定住、生活(子育て)支援

香美町の子育て支援および
空き家バンクの情報は、香
美町移住定住支援サイト
「WONDER KAMI」
をご覧ください。



養父市
高原地域で野菜づくり

なにかと読めないまち
"やぶし"

養父市 産業環境部
農林振興課
満田 理恵さん

養父市広谷250-1

TEL.079-664-0284



美しい高原で、一緒に高原野菜を作りませんか?

ベテラン農家がサポートします!

養父市は兵庫県の北部に位置し、西部には県下最高峰の氷ノ山がそびえる自然に恵まれた地域です。山麓に広がる標高600m~800mの高原地域では野菜生産が盛んに行われていて、夏場でも涼冷な気候であることを活かし、露地栽培の大根、施設による有機栽培のほうれん草、水菜等を生産しています。また、近年では都市部から移住した若い生産者が有機野菜の生産を始めており、有機ピーマンを大手小売り企業に出荷する団体を立ち上げています。

●おおや高原有機野菜部会 部会長 金谷 智之さん

ここで栽培している有機野菜は、国内で最大級の規模を持つ生活協同組合コープこうべと全量出荷契約を結んでいます。出荷先が安定した環境で野菜を育てられるのも、私たち生産農家にとってはうれしいですし、安心して栽培に取り組めます。

**サポート
します!**

親方

就農支援 新規就農希望者研修支援交付金

養父市で新たに就農する方を対象に、農業研修を行うために親方農家とのマッチング相談や研修期間中の所得確保のための交付金を交付します。

- 条件／養父市で就農する方（経営開始年齢が50歳未満）
- 交付対象／親方農家のもので年150日以上の就農研修を行う場合
- 交付額／月額15万円（最大3年間）

定住、生活(子育て)支援

養父市移住定住促進U・Iターン総合サイト



養父で空き家をさ
がしてみませんか?



「養父市空き家バンク」HP



特産品「岩津ねぎ」をはじめ、黒大豆や水稻など、 都会から程よく離れた自然の中で栽培しませんか?

兵庫県のほぼ中央に位置する朝来市は、豊かな自然に包まれながらも都市圏から2時間ほどでアクセスでき、天空の城（竹田城跡）でも有名で、日本遺産の生野銀山もある地域です。人気の特産品「岩津ねぎ」や米の栽培が多い中、丹波黒大豆や枝豆なども増えてきており、今後はオーガニック栽培も積極的に普及させたいと考えています。親方農家も多数おり幅広い品目を指導できますので、ご相談いただければより良い環境でを目指す農業を学べます。また、支援チームを作り経営や販売の勉強会も行っています。



私たちが
まってます!

●久農園 代表 久 洋平さん

大学時代あちこちで農業を体験する中、研修制度が整っていて自然も豊かな朝来市が気に入り研修をスタートしました。現在は就農から4年目。岩津ねぎとピーマンを中心に栽培しており、昨年ぐらいから収益も安定してきたように感じます。親方からはもちろん、県の普及センターJAからの指導のお陰と感謝しています。今後は人を雇い、さらに安定した経営を目指していきます。

**サポート
します!**

親方 研修

就農支援

朝来市住みたい田舎移住促進プロジェクト

- ・目指すべき将来像 - 移住定住を促進し、そこに働く人が増え、住み続け、農村環境が維持できるまちづくりを目指します。
- ・実施する事業 - 岩津ねぎなどの特産品の栽培を希望する移住・定住者を募り、空き家と農地を有効活用します。

<新規就農者補助金>

最大3年間 45歳以下 15万円/月
61歳以下 10万円/月

親方農家29人からマンツーマンで営農指導を受け、
3年後に独立、もしくは継承

定住、生活(子育て)支援

「あさご暮らし。
-朝来市U・I・Jターン総合窓口」

移住・定住者へ
の情報サイト



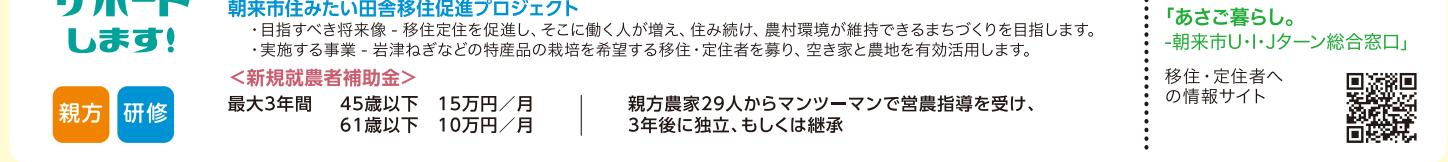
朝来市
「住みたい田舎」常に上位のまち



ばっちり
サポートします!
朝来市 産業振興部
農林振興課

中井 裕太さん

朝来市和田山町東谷213番地1
TEL 079-672-2774





「日本農業遺産」に認定された

「黒大豆栽培」の担い手になりませんか？

丹波篠山市は、京阪神から1時間というアクセスの良い立地にありながら、やすらぎある農村風景や江戸時代の風情を残す古いまち並みなど魅力ある地域資源に恵まれたまちです。「丹波黒大豆」や「山の芋」は全国的に有名で、令和3年2月には、300年の歴史ある黒大豆栽培が、「日本農業遺産」に認定されました。また近年では自然環境や生き物に配慮した「農都のめぐみ米」の普及に取り組んでいます。就農を希望される方には、研修制度や農業体験施設もあり、個々に合わせたサポートも行っています。

●黒大豆栽培に取り組む若手農業者たち

たくさんの壁にぶち当たると思いますが、丹波篠山には先輩農業者がたくさんいるので、悩んでいるときは助けてくれます。また、有機農法をはじめ、市内では様々な農法に挑戦している先輩農業者もいます。是非一緒に丹波篠山ブランドを育てましょう！お待ちしています！



私たちが
待ってます！

**サポート
します！**

研修

就農支援

- 市が運営するウェブサイト「classo」にて、研修会や先輩農家の紹介など様々な情報提供を行っています。ぜひご覧ください。
- 丹波篠山農学校「楽農セミナー」では、農業を営む上で必要な知識や技術を学べる様々な講座や研修を行っています。
- 就農後は、農業用機械の導入支援や、「オペレータースクール」といった農機具の操作講習会があるなど、就農後のサポートも行っています。

定住、子育て支援

移住の相談窓口「丹波篠山暮らし案内所 classo」では、豊富な知識を持った移住定住アドバイザーが親身に相談に応じます。

場所／丹波篠山市黒岡191 丹波篠山市民センター内
TEL／079-552-4141(月～日10時～17時受付)
※空き家バンク、仕事情報などもHPに掲載しています。



丹波篠山市北新町41
TEL.079-552-1114



就農・定着応援プラン 3地区

丹波市 有機の里「丹波」



暮らしてみたい！
を応援します

丹波市産業経済部
農林振興課
福井 厚志さん
丹波市春日町黒井811
TEL.0795-74-1465



就農支援

☆丹波市立農の学校受講者等支援事業

令和7年度生の募集は7月開始予定です。お問い合わせください。

☆認定新規就農者等育成支援事業

認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。
●補助対象事業／農業用機械又は施設の導入（認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助）
●補助率・上限金額／導入経費の2分の1以内、上限60万円

丹波市農業の入り口として、農業に関する情報をポータルサイトより発信しています。ぜひご覧ください。

歴史ある緑豊かな里山で

有機農業を学びませんか？

丹波市が誇る「丹波大納言小豆」は、特産物の1つ。有名菓子店の和菓子にも使われる有名ブランドとなっており、古くから、農家が高い技術とこだわりを持ち、守り、育んできました。また、有機栽培にも力を入れ、平成31年4月に開校した「丹波市立農（みのり）の学校」では、有機農業における栽培技術から販売、経営までトータルに学べます。露地野菜だけでなく施設野菜の実習も可能です。丹波市は京阪神から一時間半圏内に位置し、「都会に近い田舎」で、恵まれた立地であります。

●丹波市立農（みのり）の学校（全日制1年間）

現在、第6期生17名がそれぞれに思い描く「農ある暮らし」を実現するため、有機農業を日々学んでいます。第1期生から第5期生までの44名が市内で就農し、現在活躍中。農業に必要なことを学べ、即戦力を育てる理想の施設です。家賃補助や農業機械導入補助、農具貸し出しなどサポートも充実。現地説明会も受講生募集期間中に毎月開催しています。



定住、生活（子育て）支援

空き家バンクの情報や移住者体験談など、移住に関する相談をワンストップで受け付け



子育てイベントや子育て支援情報を発信



「丹波市移住・定住ポータルサイト TURN WAVE」

就農・定着応援プラン 1地区



体力、熱意、根気のある方、 洲本市は全力でバックアップします！

淡路島の中心にあり、人口約4万1千人、大型病院や大手スーパーなど、生活に必要な都市機能が充実している洲本市。ここでは、米と野菜を合わせた多作系農業が特徴です。温暖な気候を利用して、1年中作物の栽培が行われるため、他の地域よりも出荷時期をずらして販売できるメリットがあります。また、様々な作物を育てられる環境であり、農業のスタイルとして個性を出しやすい地域であります。自然と都市がバランス良く揃った洲本市で、いっしょに農業に取り組みましょう！



●上村 翔太さん（2019年就農）

現在は、たまねぎ、水稻、ナス、ミニトマトを生産しています。自分なりの目標があって一般企業を退職し、好きな農業を目指しました。就農してみて、農地を探すのも機械を借りるのも、すべて人間関係が大切だと実感しました。農作業をしていく中で試行錯誤を重ねていますが、周りの方や関係機関のサポートを受けて頑張っています。

**サポート
します！**

親方

就農支援 洲本市「親方制度」

次世代の農家を育てたいと考えている先輩農家（24名）の協力を得て、体験研修から就農実践研修、就農までをサポートしています。

STEP1 事前相談

できるだけ具体的なプランをヒアリングし、体験研修のスケジュールを組みます。

STEP2 体験研修（約1週間）

研修を通して農業だけでなく洲本での生活がイメージできます。

STEP3 面談

体験研修を踏まえ、改めて就農までのビジョンをお伺いします。

STEP4 就農実践研修（約2年）

親方農家から栽培技術や経営方法等を学ぶとともに、地域になじみながら、就農の準備を進めます。

定住、生活（子育て）支援

おいでよ洲本新生活支援事業（移住世帯）

対象：令和6年4月以降に淡路島外から移住し、住宅を購入または賃借する2人以上の世帯（夫婦、親子関係等）

支援：転入日前1年にあたる日から転入日後1年を経過する日まで（ただし交付申請年度末まで）の間に負担した費用の一部を助成（参照）市HP <https://www.city.sumoto.lg.jp/soshiki/7/25859.html>

丹波篠山市

歴史と伝統が息づく
日本一の農業の都

頼りになるベテランが
いっぱいいるから安心です！

丹波篠山市農都創造部
農都政策課

谷垣 里咲さん

丹波篠山市北新町41

TEL.079-552-1114



就農・定着応援プラン 3地区

就農支援

☆丹波市立農の学校受講者等支援事業

令和7年度生の募集は7月開始予定です。お問い合わせください。

☆認定新規就農者等育成支援事業

認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。

●補助対象事業／農業用機械又は施設の導入（認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助）

●補助率・上限金額／導入経費の2分の1以内、上限60万円

丹波市農業の入り口として、農業に関する情報をポータルサイトより発信しています。ぜひご覧ください。

定住、子育て支援

空き家バンクの情報や移住者体験談など、移住に関する相談をワンストップで受け付け



子育てイベントや子育て支援情報を発信



●丹波市立農（みのり）の学校（全日制1年間）

現在、第6期生17名がそれぞれに思い描く「農ある暮らし」を実現するため、有機農業を日々学んでいます。第1期生から第5期生までの44名が市内で就農し、現在活躍中。農業に必要なことを学べ、即戦力を育てる理想の施設です。家賃補助や農業機械導入補助、農具貸し出しなどサポートも充実。現地説明会も受講生募集期間中に毎月開催しています。

就農支援

☆丹波市立農の学校受講者等支援事業

令和7年度生の募集は7月開始予定です。お問い合わせください。

☆認定新規就農者等育成支援事業

認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。

●補助対象事業／農業用機械又は施設の導入（認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助）

●補助率・上限金額／導入経費の2分の1以内、上限60万円

丹波市農業の入り口として、農業に関する情報をポータルサイトより発信しています。ぜひご覧ください。

定住、生活（子育て）支援

空き家バンクの情報や移住者体験談など、移住に関する相談をワンストップで受け付け



子育てイベントや子育て支援情報を発信



●丹波市立農（みのり）の学校（全日制1年間）

現在、第6期生17名がそれぞれに思い描く「農ある暮らし」を実現するため、有機農業を日々学んでいます。第1期生から第5期生までの44名が市内で就農し、現在活躍中。農業に必要なことを学べ、即戦力を育てる理想の施設です。家賃補助や農業機械導入補助、農具貸し出しなどサポートも充実。現地説明会も受講生募集期間中に毎月開催しています。

就農支援

☆丹波市立農の学校受講者等支援事業

令和7年度生の募集は7月開始予定です。お問い合わせください。

☆認定新規就農者等育成支援事業

認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。

●補助対象事業／農業用機械又は施設の導入（認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助）

●補助率・上限金額／導入経費の2分の1以内、上限60万円

丹波市農業の入り口として、農業に関する情報をポータルサイトより発信しています。ぜひご覧ください。

定住、生活（子育て）支援

空き家バンクの情報や移住者体験談など、移住に関する相談をワンストップで受け付け



子育てイベントや子育て支援情報を発信



●丹波市立農（みのり）の学校（全日制1年間）

現在、第6期生17名がそれぞれに思い描く「農ある暮らし」を実現するため、有機農業を日々学んでいます。第1期生から第5期生までの44名が市内で就農し、現在活躍中。農業に必要なことを学べ、即戦力を育てる理想の施設です。家賃補助や農業機械導入補助、農具貸し出しなどサポートも充実。現地説明会も受講生募集期間中に毎月開催しています。

就農支援

☆丹波市立農の学校受講者等支援事業

令和7年度生の募集は7月開始予定です。お問い合わせください。

☆認定新規就農者等育成支援事業

認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。

●補助対象事業／農業用機械又は施設の導入（認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助）

●補助率・上限金額／導入経費の2分の1以内、上限60万円

丹波市農業の入り口として、農業に関する情報をポータルサイトより発信しています。ぜひご覧ください。

定住、生活（子育て）支援

空き家バンクの情報や移住者体験談など、移住に関する相談をワンストップで受け付け

子育てイベントや子育て支援情報を発信

●丹波市立農（みのり）の学校（全日制1年間）

現在、第6期生17名がそれぞれに思い描く「農ある暮らし」を実現するため、有機農業を日々学んでいます。第1期生から第5期生までの44名が市内で就農し、現在活躍中。農業に必要なことを学べ、即戦力を育てる理想の施設です。家賃補助や農業機械導入補助、農具貸し出しなどサポートも充実。現地説明会も受講生募集期間中に毎月開催しています。

就農支援

☆丹波市立農の学校受講者等支援事業

令和7年度生の募集は7月開始予定です。お問い合わせください。

☆認定新規就農者等育成支援事業

認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。

●補助対象事業／農業用機械又は施設の導入（認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助）

●補助率・上限金額／導入経費の2分の1以内、上限60万円

丹波市農業の入り口として、農業に関する情報をポータルサイトより発信しています。ぜひご覧ください。

定住、生活（子育て）支援

空き家バンクの情報や移住者体験談など、移住に関する相談をワンストップで受け付け

子育てイベントや子育て支援情報を発信

●丹波市立農（みのり）の学校（全日制1年間）

現在、第6期生17名がそれぞれに思い描く「農ある暮らし」を実現するため、有機農業を日々学んでいます。第1期生から第5期生までの44名が市内で就農し、現在活躍中。農業に必要なことを学べ、即戦力を育てる理想の施設です。家賃補助や農業機械導入補助、農具貸し出しなどサポートも充実。現地説明会も受講生募集期間中に毎月開催しています。

就農支援

☆丹波市立農の学校受講者等支援事業

令和7年度生の募集は7月開始予定です。お問い合わせください。

☆認定新規就農者等育成支援事業

認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。

●補助対象事業／農業用機械又は施設の導入（認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助）

●補助率・上限金額／導入経費の2分の1以内、上限60万円

丹波市農業の入り口として、農業に関する情報をポータルサイトより発信しています。ぜひご覧ください。

定住、生活（子育て）支援

空き家バンクの情報や移住者体験談など、移住に関する相談をワンストップで受け付け

子育てイベントや子育て支援情報を発信

●丹波市立農（みのり）の学校（全日制1年間）

現在、第6期生17名がそれぞれに思い描く「農ある暮らし」を実現するため、有機農業を日々学んでいます。第1期生から第5期生までの44名が市内で就農し、現在活躍中。農業に必要なことを学べ、即戦力を育てる理想の施設です。家賃補助や農業機械導入補助、農具貸し出しなどサポートも充実。現地説明会も受講生募集期間中に毎月開催しています。

就農支援

☆丹波市立農の学校受講者等支援事業

令和7年度生の募集は7月開始予定です。お問い合わせください。

☆認定新規就農者等育成支援事業

認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。

●補助対象事業／農業用機械又は施設の導入（認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助）

●補助率・上限金額／導入経費の2分の1以内、上限60万円



一年を通じて安定した農業が可能。

サポートも充実し、安心して就農に取り組めます。

淡路島南部に位置する南あわじ市は、神戸へ約60分、大阪へ約90分、徳島へは約40分と、アクセスの良い距離にあります。また、都市機能も整っておりとても暮らしやすい町です。温暖な気候を活かした水田多毛作栽培が特徴で、有名な淡路島たまねぎや、収穫量日本一の冬レタス、白菜などの栽培で一年中安定した農業を行え、令和2年度には日本農業遺産に認定されました。農業の多様化も進み、新しいビジネスモデルやネット販売なども、それぞれのニーズに合った親方の元で学べるよう支援しています。



私たちが
まっています!

Top Field 代表 堤 直也さん

「品質・供給・価格の安定」を掲げ、新鮮で美味しいレタスを食卓へ届けています。就農を希望される方には、独立・自営就農に向けたスキルを従業員として5年間雇用されながら身につける『就農・定着応援プラン』を準備しています。技術だけでなく作付や資金計画、経営改善ノウハウなども教えていくので、新規就農時に必要な知識や考え方をしっかり学んでいただけます。

**サポート
します!**

就農支援 毎月第2水曜日に「就農相談会」開催(予約申込制)

詳しくは→



南あわじ市就農支援連絡協議会では、就農希望者の発掘のみならず、受け皿となる親方農家の育成や地域の環境整備を支援しており、就農希望者に向けた主な取組みとして、「就農相談会」を開催しています。相談内容をもとに、就農希望者のニーズに合った研修先(親方農家)をご紹介し、独立就農までサポートします。

親方 農地 施・機

●担い手を育成するための取り組み

- 女性農業者グループが実施する活動への支援(交流会、研修会の実施等)
- 担い手確保のための支援(就農セミナーへの出展や、農業経営者向け研修会の開催)

農林水産省→



定住、生活(子育て)支援

●移住支援補助金・奨励金

島外から移住する意思のある世帯に対して、お試し移住者にも手厚い補助があります。
詳しくは「住みニコ」



JA兵庫六甲

自然の気候風土に恵まれた
日本一の農業の都



トマトのプロ農家を
目指そう!

兵庫六甲農業協同組合
営農経済事業部
轟西 心さん

神戸市北区有野中町2丁目12-13
TEL.078-981-6871



最先端ハウスでトマト栽培を学び、 未来の農業経営者(リーダー)を育てます!

未来の農業経営者を育成するため、「ゆめファーム兵庫六甲農業経営者育成塾」では塾生を随時募集しています。まずは1年間、環境制御システムを導入し水耕栽培を行う最先端園芸施設で働きながら高度な技術を学び、2~4年目は、檍谷地区で農業知識・技術、実践的農業経営など、栽培経験者指導のもとで学び、独立に必要な全ての知識を身につけます。卒業後は、農地取得など独立経営に向けた関係機関からのサポートも充実しています。トマトのプロ農家を最高の環境で目指しましょう!



●ゆめファーム兵庫六甲卒業生 澤田 博文さん (研修開始H30年～卒業・就農R2年)
JA職員(當農相談員)より紹介と説明を受けて農業に興味を持ったことがきっかけとなり、農業経営が楽しく感じたため、農業経営者育成塾に応募しました。研修では実践的な栽培技術・農業経営を学ぶことができたため、独立した今も大いに役立っています。今後も学んだ理論的な技術を活かし、安定した収穫量と規格品を生産できるように、頑張っていきます!

**サポート
します!**

就農支援 「ゆめファーム兵庫六甲 農業経営者育成塾」

研修

1年目

基礎研修

…

2年～4年

実践研修

…

5年

独立経営開始!

[平成27年度～現在]

卒業生: 4名

(元年度に1名、3年度に2名、

5年度に1名就農。)

研修生: 1名

(R2年度～研修中)

●募集人数／4名

●募集対象者

農家子弟及び当組合管内で営農活動を計画し、農業に対する固い意志と熱い意いがある方。

※説明会、募集受付は随時行っています。
詳細はお問い合わせください。



国、県の「本格的な就農を目指す方」向け支援・助成制度

国

新規就農者育成総合対策(資金交付等) 「就農準備資金」「経営開始資金」「経営発展支援事業」の3つがあります

就農準備資金

兵庫県立農業大学校等の県が認める農業経営者育成教育機関・先進農家・先進農業法人等で研修を受ける場合、研修期間の所得を確保する資金を交付します(年間150万円、最長2年間)。

経営開始資金*

就農直後の経営確立を支援する資金を交付します(年間最大150万円、最長3年間)。

経営発展支援事業*

就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援します(最大750万円)。

*上記以外にも、「原則として就農時の年齢が50歳未満」、新たに農業を始める方が作成する「青年等就農計画」を市町が認定した「認定新規就農者」であることなど、交付要件を満たしている必要があります。
詳細については、ひょうご就農支援センターまたは、就農地の市町の農業担当部署にご相談ください。

国

青年等就農資金(無利子融資)

市町村が認定した「青年等就農計画」に即して農業経営を開始するために機械・施設の購入等に必要な資金を無利子で借りることができます。

- 貸付対象者／認定新規就農者
- 貸付主体／日本政策金融公庫
- 資金使途／施設、機械等の取得(農地の取得は除く)、長期運転資金等
- 貸付限度額／3,700万円(特認限度額1億円)
- 償還(据置)期間17年以内(うち据置5年以内)

お問い合わせ 日本政策金融公庫 神戸支店 TEL078-362-8451

兵庫県

農業施設貸与事業 (園芸用ハウス等導入助成)

新規就農者の初期投資負担軽減のため、リース等による園芸用ハウスの導入を支援します。

●対象者／認定新規就農者

●対象施設／園芸用ハウス及びその附帯施設・機械

●助成額／経費の1/2以内を補助

お問い合わせ 県内各地のJA(農業協同組合)

南あわじ市

多毛作栽培で年中安定収入



農業で経営者を目指そう!
産業建設部 農林振興課
濱藤 貴志さん
多田 雄哉さん

南あわじ市市善光寺22-1

TEL.0799-43-5223





「農業をやりたい」 そんなあなたを応援します!



就農希望者



兵庫県で農業がしたいけれど…

- ・どこでやるのがいいかな?
- ・地域の人に受入れてもらえるかな?
- ・どんな作物をつくったらいいだろう?
- ・農地や機械はどうしよう?
- ・子育てなど生活環境はどうなってるの?



ひょうご就農支援センターはここまでやる!!

ここで差が付く! 相談前の準備を紹介

●HP等で就農事例や経営試算等の情報収集 ●自宅近隣の家庭菜園や貸農園での農業体験

1 相談カード入力

ひょうご就農支援センターHP
から入力できます。
相談開始（オンラインも可）

2 就農相談会・ 就農バズツアーに参加

3 短期体験 (インターンシップ研修)

農業法人等で7日間の体験。
数カ所で実施することも可能。

4 自分に合った 農業スタイルを選ぶ

【本格的な独立就農】
or【農業法人等で雇用就農】

5 スタイルに応じた研修 (1~2年)

6 就農



地域ぐるみで
皆さんを支えます!

応援チームが
橋渡し!

地域就農・定着応援プラン

プランにはこんな情報が

●こんな地域の魅力があります

●こんな人にきてほしい

●就農サポートメニュー

- ・技術・経営ノウハウ習得
- ・農地あっせん 等



●生活サポートメニュー

- ・地域へのとけこみ支援
- ・空家情報・子育て支援 等



新規就農者受け入れ希望地域

← 兵庫県HP 就農・定着応援プラン一覧
マイナビ農業【兵庫県】「ひょうごde就農」→



地域単位の応援チーム

市町単位の応援チーム

就農に向けた「心構え」チェックシート



	チェック	内 容	備考
1	<input checked="" type="checkbox"/>	健康ですか、体力に自信がありますか。	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	農業者は技術者でもあり、経営者でもあります。経営者（社長）の自覚はありますか。	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	家族は就農に同意していますか。 協力は得られますか。	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	どのような農業経営が目標ですか。 イメージを家族と共有していますか。	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	田舎での暮らしには近所付き合いが必要です。 他人との付き合いは苦になりませんか。	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	収入がゼロでも、最低2年間の生活資金は確保できていますか。	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	農業を始めるために用意できる自己資金はいくらですか。（ 万円）	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	当センターHP「先輩の声」「農業法人ガイドブック」「経営試算」「一緒に汗流しませんか」で情報収集されましたか。	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	実際の農業現場を見学・体験しましたか。	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	どこで農業をするのか、意向は固まっていますか。	
11	<input checked="" type="checkbox"/>	どのような作物を作るのか、決まっていますか。	
12	<input checked="" type="checkbox"/>	栽培方法は検討しましたか。 (露地、施設、有機栽培等)	
13	<input checked="" type="checkbox"/>	実際に就農までの準備項目・期間を理解していますか。	
14	<input checked="" type="checkbox"/>	就農までのスケジュールを作成されていますか。	
15	<input checked="" type="checkbox"/>	住宅を確保するめどがたっていますか。	
16	<input checked="" type="checkbox"/>	免許・自家用車のめどがたっていますか。	

すべてチェックが入れば準備段階はクリアできていると判断できるでしょう。

ひょうご就農支援センター監修



お問い合わせ

兵庫県農林水産部 農業経営課 担い手対策班

TEL.078-362-9194 (直通) E-mail nougyoukeiei@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご就農支援センター TEL.078-391-1222

